

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルグ・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	IN-EAST		
報告書提出日	2019年10月22日		
留学予定期間	2019年10月～2020年3月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 180,000 (円) /合計

航空券代： 160,000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 100 (€) /合計

その他（パソコン購入）： 200,000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

6月半ば：留学許可証が大学から届き、寮に関する案内や日程表が配られる。

その後すぐに航空券を予約。

7月初旬：現地のバディから連絡が来る。

7月下旬：学生寮の契約をする。

8月初旬～半ば：学生寮に関する費用の国際送金をする。

9月半ば：到着後のVISA申請の日程や試験の案内が届く。

国際送金の仕方や、必要な情報が最初はよく分からなかったので手間取りました。

SIMフリーの手続きや海外キャッシング対応のカードを準備しておく必要があります。

現金もすぐに必要になるので多めに両替して持っていく必要があります。

1.2. 渡航について

行きは JAL でフィンランドのヘルシンキまで行き、そこからフィンエアーでデュッセルドルフまで向かいました。トランジットを含めて14時間でしたが、フィンランドで一時間ほど飛行機の離陸が遅れました。

デュッセルドルフ空港まではバディとドイツ人の友人が迎えに来てくれていました。

到着日はまだ寮に入れなかったため、そのままデュッセルドルフのホテルへ向かいました。あらかじめバディにホテルの位置情報を伝えていたので、そのまま案内してれました。

空港からホテルまでは電車で、20分くらいで到着し、平日の夜だったので交通費もかかりませんでした。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

◇手続き方法

パスポートと事前に自分がサインしていた契約書の印刷の確認で鍵をもらうことができました。家賃は毎月 340€で、ドイツで開設した銀行口座から引き落とされるので、口座にお金を入れておく必要があります。

◇気付き

部屋はベッドと机、棚とクローゼット、全身鏡、冷蔵庫がありましたが、ゴミ箱はありませんでした。トイレットペーパーやベットシーツ、掛けふとんもないので、すぐに買いに行きました。ショッピングモールの場所もわからないので、バディに連れて行ってもらうのが良いと思います。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

外国人局での手続きは事前の予約に従って 10/8 に行いました。申請に来ている人が多く、少し待ちましたが、スムーズに終わりました。後日外国人局から 100 ユーロを持って指定された日付に手続きをしに行かなければいけないという内容の郵便が届きました。

VISA を取得するにあたって留学生が注意しなければならないことは、シュペアアカウントです。毎月 853 €の保証がなければ VISA を取得出来ません。私の場合は 6 か月の留学なので $853 \times 6 = 5118€$ です。奨学金証明が約 3400€なので 残りの 1700€、日本円にして 20 万円ほどがすぐに必要になりました。一年留学する場合は 30 万円ほどが必要になるようなので、注意が必要です。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

基本的に全てバディと一緒に行いました。

10/07 学生登録 10:00-12:00 プレイスマンテスト 14:00-14:30

学生登録はまず保険の手続きを行い、そこで渡された書類を持って、留学生が 4 人ずつ同時に行いました。学生登録の際に、登録料として大学に 313.18€支払うための支払い書や学生証も受け取るのでとても重要です。

プレイスマンテストはパソコンで受けました。IN EAST の留学生が集められて 25 分間で行いました。バディ達は教室の外で待っていてくれました。その場で結果が出て、自分の受けるドイツ語のクラスの中から時間を決めます。

10/11 履修登録

大学の図書館で行いました。英語やドイツ語のような言語のクラス授業は 10 日までにプレイスマンテストをうけなければいけないので注意が必要です。

10/14 ウェルカムパーティー 16:00-20:00

ウェルカムパーティーは大学の地下にある小さな場所で行われたので、バディに場所を教えてもらいました。地下だったので少し暗かったです。IN EAST の留学生とバディ達の交流の場で、日本の他に韓国と中国の留学生達がいきました。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後、ドイツ語検定で2級以上を取得する。苦手なスピーキングを克服するために、ドイツ人学生とドイツ語で会話ができるようにする。また、ゼミの研究の関わるドイツでしか探せない資料探しのためにドイツの地方（特にゴスラーなど）へ旅行する。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

もともと自身のドイツ語能力に自信はなかったが、バディ達の日本語が上手いのでドイツ語で話しかけられたことに対し日本語で答えてしまっている自分がある。聞き取りができるようになっていのは実感できるが、話すことがあまりできていないので、直していきたいと思う。

また、まだ二人しかタンデムに誘えていないので、自分からどんどん行動を起こしていきたいと思う。

3.3. 今月の学習・研修目標

留学先での生活に慣れはじめたところなので、タンデムや個人での学習に力を入れて、無駄な時間を過ごさないようにしたい。日本人留学生が多いことは心強いが、それに流されないようにしたい。また、授業がない日も寮にこもっているのではなく、積極的にバスや電車に乗ってドイツでの移動や出歩くことに自信をつけていきたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	冬学期
月	Deutsch A2 14:00-18:00
火	Kreuzzugsliteratur 12:00-14:00 Tanzen 18:30-19:30
水	(Tandem 10:30-12:00, 13:00-16:30)
木	Einführung in die Literaturwissenschaft 10:00-12:00 DeutschA2 14:00-18:00
金	
土	
日	

4.2. 授業について

① Deutsch A2 (240分/1コマ)(2コマ/週)

20人強のクラス授業。日本人留学生が多い。

プレイスマンテストの結果をもとにクラス分けされているだけあって理解度的には問題ない。

しかし初回の授業時に生徒数が定員を超えていたため、手違いなどで登録がされていなかった生徒はクジ引きで、初回の授業を欠席した生徒は自動的に除名された。

評価方法：レポートの課題、プレゼンテーション

② Kreuzzugsliteratur (120分/1コマ)(1コマ/週)

質疑応答が多いゼミナール形式の授業。現地学生が多い。

留学生に理解のある先生だったため、日本語の資料をPDFで送ってくれた。

歴史の授業なので日本の教材も役に立つ。

評価方法：レポート(留学生対応)

③ Tanzen (60分/1コマ)(1コマ/週)

体育館で行われる。

人数が多いが、初心者向けの簡単なダンスがメインなので体を動かしたい人にオススメ。

④ Einfurung in die Literaturwissenschaft (120分/1コマ)(1コマ/週)

IN EASTの留学生しか受けることのできない授業。日本、韓国、中国の学生のみ。

初回からドイツ語でポエムを書くという課題を出されたが、留学生のための授業なので評価は厳しくない。

評価方法：課題と試験

4.3. 予習・復習・自習について

① Deutsch A2 (240分/1コマ)(2コマ/週)

tandemなどで授業の内容を復習、また、わからなかった部分の課題を手伝ってもらう。

② Kreuzzugsliteratur (120分/1コマ)(1コマ/週)

事前に送られてくる授業の内容に関係している資料を読み、疑問点や重要な点をマークしておく必要がある。

③ Tanzen (60分/1コマ)(1コマ/週)

基本的にしない。

④ Einfurung in die Literaturwissenschaft (120分/1コマ)(1コマ/週)

初回から重めの課題が出たので、課題を終わらせるだけでもなかなか大変だった。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮(その他:)
----	------------

Schemkeswegの寮は清潔で広くで良いです。学生証がないと洗濯機が回せないことと、物干し竿が大きいだけ大変です。寮に入ってすぐは何もありませんが、まな板や包丁、鍋などの調理器具と食材、調味料を揃えれば基本的になんでも作れます。普通はオーブンと電子レンジがありますが、キッチンによっては電子レンジがない場合もあるので、そこは運次第です。バス・トイレが共有なので、隣人によっては掃除当番の話が細かく面倒だったり、使い方が汚い場合もあるらしいです。

5.2. 課外活動について

まだ3週間しか経っていないこともあって、さほど遠くまでは行っていません。DusseldorfやKolnといった観光地はIN EASTの学生が連れて行ってくれました。日曜にはほとんどのお店が閉店しているので、土曜のうちに買い物を済ませておく必要があります。

IN EASTの学生達はとてもフレンドリーなので、急に誘っても割と一緒に行ってくれたり、仲良くなるとお家でゲームをしたり、ホームパーティに呼ばれたりします。

5.3. 現在までの感想

やっと慣れてきた気がします。しかし、先にも述べたように日本人や、日本語を話してくれるドイツ人に囲まれてしまっているのです。そこはこれから改善していきたいです。ドイツ語の授業中はあまり日本語を話す機会はないですが、せつかくの留学なので授業以外ももっと率先してドイツ語を使っていきたいです。そうした反面、慣れない土地での銀行を開設、履修登録、バスや電車に乗ることは必ず不安がついて回るので周りに日本人がいることは、そうした不安やストレスを軽減してくれるので日本人留学生との交流も大切だなと思いました。

最初の一ヶ月は特にだと思いますが、必要なもの(食器や電化製品、タオル、洋服)を揃える以外にも、パーティーや飲み会、食事に誘われることが多いので、現金は大いに越したことはないです。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (12月)

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン 大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	In-EAST		
報告書提出日	2019年12月 日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

先月と変わらず、帰国後にドイツ語検定で2級以上を取得すること。また、ゼミの研究の関わるドイツでしか探せない資料探しのためにドイツの地方（特にゴスラーなど）への旅行に加え、留学中の経験を就職活動に活かせるように様々な考え方、文化の違いを受け入れ、理解し、自分の考えを形成すること。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

ドイツ語のグループワークの際に、あまりドイツ語で話すことができなかった。プレゼンテーションは自分のベストを尽くしたが、先生の質問にうまく答えることが出来なかったのが悔しかった。

1.3. 今月の学習・研修目標

ドイツ語の講義で、日本で学習していない文法を扱う機会が多くなってきた。新たな文法は、忘れないようにその日からバディ達との会話で使うようにしている。文面での学習ではできても、話すとなると難しいことが多いと思う。また、小テストも自分が想定していたものとは幾分異なった内容で、結果が思わしくなかったため、次回の小テストの際には今回よりも良い点が取れるように努力しようと思う。

2. 学修について

2.1. 授業時間割（前回から変更がある場合のみ履修科目と時間を記入）

現在の学期	前学期
月	(Tandem 10:00-12:00 12:00-14:00)
火	
水	
木	
金	
土	
日	

2.2. 授業について

① Deutsch A2 (240 分/1 コマ)(2 コマ/週)

A2 の授業は人数が多く、一人ひとりのレベルの差が大きいように感じる。そして先生の教えるスピードも早く、予習をしていないと新しい文法の理解が難しい。文法や名詞の性を頭で考えてたり調べている間に周りの生徒が次々と答えていってしまう。そのため、個人での予習・復習を怠らない方が良い。また授業内で、中国やインド、ロシア人の学生とグループワークも行われる。お互いの母語が異なるため、自然とドイツ語でコミュニケーションをとることになるのはお互いのために良いことだと思う。それ以外にも、12月に入るとプレゼンなども行われた。ドイツ語でプレゼンの原稿を作るのは大変だったが、グループで協力し、バディに添削してもらって発表した。

② Kreuzzugsliteratur (120 分/1 コマ)(1 コマ/週)

基本的に、ドイツ人学生の質疑応答とプレゼンテーションによって行われ、自分を含めた留学生はそれの聞き取りをしている。しかし自分の語学力では満足いくレベルの聞き取りができないので、自然と予習・復習が中心になる。ごくまれに質問をされることもあるが、それに答えることも簡単ではない。

③ Tanzan (60 分/1 コマ)(1 コマ/週)

毎月ダンスの内容が変わり、今回はジャズをやった。毎回人数が変動するが、必修やゼミナール以外では、珍しいことではないらしい。

④ Einfurung in die Literaturwissenschaft (120 分/1 コマ)(1 コマ/週)

留学生のために今年開設されたばかりの講義だが、正直なところ留学生にしてはドイツ語のレベルが高めだと思う。一緒に受けている中国人学生のドイツ語レベルはC2でドイツ語の会話や講義を困難なくできるレベルなので、仕方がないが、自分のプレゼンテーションの時は現地学生の協力がなければ出来なかつたろうと思う。

2.3. 予習・復習・自習について

① Deutsch A2 (240 分/1 コマ)(2 コマ/週)

上で述べたように、授業のスピードが速いので基本的に毎回の授業には予習をしていくことにしている。予習・復習の後は、わからなかった点や疑問に思った点を、タンデムの時間や自習をしているときにバディ達に教えてもらっている。週に二回あるので、自然と毎日ドイツ語の勉強をすることになる。

② Kreuzzugsliteratur (120 分/1 コマ)(1 コマ/週)

授業中に拾った単語や言葉についての復習と、授業内で使っているドイツ語の資料の解説が主な自習となっている。

③ Tanzan (60 分/1 コマ)(1 コマ/週)

なし。

④ Einfurung in die Literaturwissenschaft (120 分/1 コマ)(1 コマ/週)

授業に関連する課題を中心に取り組んでいる。プレゼンテーションの時は内容がフロイトに関連するものと非常に難しく、自分自身知らないことばかりだったのでとても苦労した。

2.4. 語学力について

授業で先生や生徒たちが使うドイツ語は丁寧でゆっくりなものが多く理解しやすいが、バディ達と話していると冗談を言い合ったり、略して話したりしているので何回も聞き返さないと会話ができないことが悔しいし、もどかしく感じる。また、日本語を話すことができない他国の学生や、一般の人と話す機会があっても自分の伝えたいことを 100 パーセント伝えることが出来ないし、結局英語に頼ってしま

うことが多いので、咄嗟にドイツ語を話せるようになりたいと思う。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

最初の一ヶ月と異なり、11月・12月は寮のキッチンで食事を作ることが多くなった。また、一人で作る機会も増えたように感じる。それぞれがドイツでの留学生活に慣れてきたのではないだろうか。最初の頃と比べると、食材の無駄も減り、自分が消費する量を把握出来てきたように感じる。食材が安いことにプラスして、親やら送られてくる調味料や食料もあり、またキッチン道具も揃っているので、食に関しては十分な日々を送っていると思う。しかし、同じキッチンを利用する学生の中に潔癖症の人や神経質の人がいると、色々な問題が起こるのが少し面倒だと思う。キッチンでパーティーがあった翌日は、「煩くて寝れなかった。次あったら警察を呼ぶ」と言われた日本人もいたと聞いた。私の方がキッチンに近い部屋だったが問題なく眠れたので、喧嘩になるようであれば、そうした文句は気にしない方が良いと思う。また、洋服に関しては、色々なお店を回っているが日本と比べるとサイズや値段で納得できるものが少ないと思う。当初懸念していた洗濯による洋服の痛みも、思っていたより酷くはないのでお洒落が好きならば日本から持っていく方が良いと思う。しかし、思ったより酷くないだけで、ドラム式洗濯機なのである程度の痛みは覚悟しておく方がいい。

3.2. 課外活動について

最初の一ヶ月に比べ、週末にでかける機会も増えたと思う。特に、今までは州内を出ていなかったが、州内を出て、ドイツ国内を旅行したり、一人で田舎を訪れたりもしてみた。フロイデンベルクはとても美しい街だったが、観光地ではないので何もなかったのが印象的だった。また、現在はクリスマスシーズンのため、様々な地域でそれぞれのクリスマスマーケットが開催されている。開催場所によって異なるデザインのマグカップが売っていたり、テーマに沿ったクリスマスマーケットが開かれていて、もっと多くの地域のクリスマスマーケットにいつてみたいと思った。ブラックフライデーも日本以上に盛大にセールが行われており、驚いた。

一番驚いたことは、バディ達の行動力だ。週末や放課後でも留学生の私たちが困っていたり、どこかに出かけたいと話すと積極的に手伝ったり、一緒に出かけてくれる。電車の中でもドイツ語を使うことができるし、何か起こっても丁寧に説明してくれるのでとてもありがたいと思う。彼らが日本に来たときや、他の留学生が神奈川大学にきた際には、積極的に手伝いたいと思う。

3.3. 現在までの感想

デュースブルク・エッセン大学の IN-EAST の学生は本当によくしてくれていると思う。上で述べたように遊びやお出かけにも誘ってくれるし、彼らとの交流を主の活動とすることで、学生が普段から使っている自然なドイツ語を身につけることはもちろん、日本人だけとの交流ばかりになることがない。日本語や日本の文化をよく理解してくれているおかげで、お互いに尊重しあえるし、彼らが日本へ来るときには、また会いたいとも思う。なので、神奈川大学に行くためには N2 が必要と聞いて少し残念な気分になった。

以上